

2012年
5月 No.355

SINCE 1977

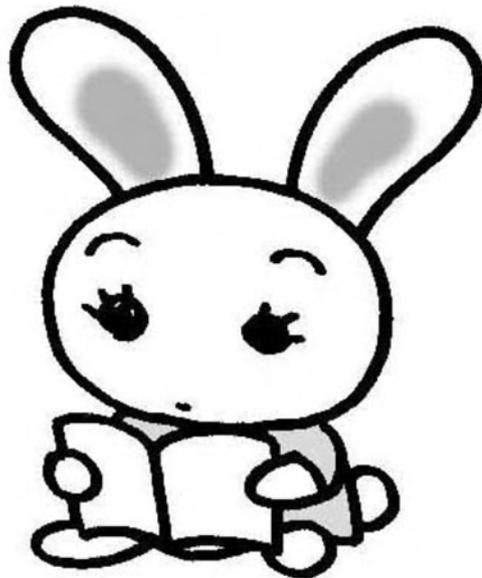
発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5
長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513
URL <http://vnetnagano.or.jp>
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp



ボランティア かわらばん

編集
発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会

ボランティア 千夜一夜物語



ボランティア活動をしている人たちには、それぞれ
の物語があります。それは、個人的なことだっ
たり、今の社会に対する思いだったり。

始めたとき、活動しながら、そして未来。そこ
にある物語にスポットライトをあててみましょう。
どんな物語が繰り出されるか、はじまりはじまり～。

 **みんながネットワーク**

このかわらばんは信販販売センターのご好意で
一部の地域へボランティアで配布していただいています。

「ボランティアかわらばん」は共同募金  のご協力で発行しています。



ボランティア 千夜一夜物語

夢を乗せて



ひまわり号の会
太田耕三さん

「自由に旅がしたい」。様々な障がいをもつ人たちの夢と希望を列車に乗せて、障がい者も健常者も垣根なく共に旅する「長野『ひまわり号』の会」。今年で結成29年、来年30年を迎えます。

立ち上げメンバーの太田耕三さんは当時31歳。ボランティアを始めるきっかけは、上野―日光間を走る障がい者専用列車の様子を伝えるテレビ番組でした。「一生に一度は列車で旅したい」、そんな夢を実現し涙する障がい者の姿に、鉄道会社に勤務していた太田さんはすごい衝撃を受けたと言います。「おれたちの仕事がこんなにも喜ばれるんだ」。

ボランティアというよりも、やってみて、その想いだけでした。

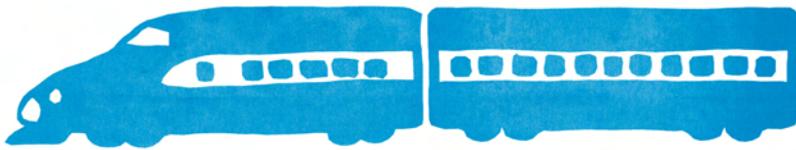
たまたま太田さんの合唱仲間に見聞障がい者の友人がおり、彼の友人や恩師からネットワークが広がっていききました。太田さんの職場にも賛同者がいました。そこから上田市の本州大学（現長野大学）にもつな

りました。何より、動き始めてみて、障がい者自身や家族からの希望の声が届いてくるのが力になりました。車いすでは駅の改札口さえ通れない、バリアフリーにはまだほど遠い世の中でした。道のりは簡単ではありませんでしたが、それを乗り越えた太田さんの想いは、上野―直江津間を結ぶひまわり号として、障がい者、家族、ボランティアなど400人の夢と希望を乗せてスタートしました。

「今までは近所からお土産をもらうばかりだったけど、今度はお土産を買ってやることができる」。重度の障がいを持つ参加者のお母さんの言葉が印象に残っている太田さん。実際、ホテルのお土産売り場から史上最高の売り上げだと言われたこともあったそうです。

参加者の数に目が行きがちですが、いわゆる動員型ではなく、ひとりひとり寄り添うボランティアが好きだという太田さん。だからこそ「ひまわり号は安心できる」と胸を張って言えるのでしょう。

今年6月に東北・南三陸に出発します。



仕事以外の世界



NPO法人みどりの市民
渡辺ヒデ子さん

1987年、ボランティアのための夜の講座、「ボランティアナイトスクール」に参加した渡辺ヒデ子さん。きっかけは、チラシを見て仕事以外の世界を知りたい、人生を変えたいという思いでした。その後、そこで出会った仲間と自分たちで何か企画して、「このままでいいの？」

と思う世の中に対して行動を起こそうと「ボラン亭」をつくりました。今まで一番大きな企画は、城山公園のヒマラヤ杉を様々に飾り、巨大クリスマスツリーにし、雪の中、「スノーマン」を上映したことです。そこには「戦争



反対」という直接的な事ではなく、平和な時にしかできない事を大事にしたいという思いがありました。

また、知人に声をかけられ、障がい者は何を考えているのかを伝える活動に参加して、富永フサエさんの

詩集「女の子の時」の編集作業にも参加。1998年長野オリンピックの頃には、日本語教室の先生もつとめました。

現在は、環境を中心として精力的に活動している渡辺さんですが、社会の様々な事に関心を持って見つけ、行動をおこしています。「人様のためではなく、自分からやりたいことを市民活動として、社会に対してメッセージを出している」という渡辺さんは、まっすぐな瞳を向けて語ってくださいました。

取材…武田厚子

人は1人では生きていけない



込山哲也さん

込山哲也さんとボランティアの出会いは、長野オリンピック。ユニフォームが欲しくて、「ボランティアしよう！」と思いついたそうです。

その後、勤務先がスペシャルオリンピックス(*)の大会に協賛することになり、社内にボランティア委員会を設置され、委員長に。改めて「ボランティアって何？」という疑問を確かめたくてボランティアセン

注釈(*)知的障がい者のオリンピック

ボランティア千夜一夜物語



ターにやってきました。

コーディネーターと話をすることで、「何かデカイことやってみよう！」と意気込んでいましたが、「そんなに気負わずゴミひろいから始めたら？」と言われ「エ？ そんなこといいの？」かと思いましたが、そこで、会社周辺や通勤路でのゴミ拾いを社員全員でやることに。そこで得たものは達成感と、人と関われるうれしさ。

さらに個人的に誘われてかわらばんの記者に。「最初は文章を書くことにも慣れず、大変だった」と振り返る込山さんですが、「世の中には自分の知らないことがいっぱいある」とわかり、どんどん楽しくなります。転機は、娘さんが心臓の手術のため入院した時。どんなに頑張っても自分の娘を自分の手で助けられない。医師を信じきって任せるしかない。「人は1人では絶対に生きられないんだ」と気づきました。その気持ち

が今につながっています。「困っている人がいるなら、助ける。自分もいつか必ず困るはず。だから、断らない」のだそうです。ボランティアセンターの扉を開けたときから、ひとつ動くと次がやってきました。次々舞い込んでくる頼まれごとから、

まだまだ込山さんの物語が展開しそうな予感です。



自分が必要とされる実感を得る



かわらばん配達 宮下克彦さん

かわらばん配達をしていた宮下克彦さんにお話を伺いました。宮下さんは仕事の合間をぬって、長野市内の広範囲に散らばる10箇所程度に配達しています。

この活動を始めるきっかけは、何かボランティアしたいと、ボランティアセンターに向いたところ、センターのコーディネーターに誘われたこと。元々、学生時代に手話のボランティアをしたり、知的障がい者への支援をしていたので、ボランティア活動自体は非常に身近なものでした。

かわらばんを届けた時に、今時風の若い店員さんが、両手でしっかりと受け取ってお礼を言ってくれ、人は見かけじゃないと嬉しくなるそうです。現在、不要になった冷暖房器具や家具や電化製品などを、必要としている施設へつなぐ活動もされていて、そういう情報掲示板のようなものを

友達がほしい



やまびこ会 Sさん

ボランティアセンターに設置できた、もつと沢山の方に役立つのにと考えているそうです。また、将来的には「モノ」を活かすだけでなく、「人」を活かす活動が広まるといいなと思われています。ますますお年寄りが多くなっていく社会で、自分が世の中から必要とされている実感を得て、外を向いて生きていく人が増えることで地域が活性化されるようになれば理想的だと話されていました。豊富なボランティア経験を通じて、いろんな視点を持つ宮下さんらしいお話でした。

取材・茶嶋宏明

Sさんは17年前にご主人の転勤で、知り合いが1人もいない長野にやってきました。出合いを求めていたSさんは、市報に載ったボランティア講座受講生募集のお知らせに、早速申し込みました。講座ではアイマスクをして階段の上り下りをしたり、目の不自由な方のお話を聞いたり、朗読を勉強したりしました。



終了後入会したのが「やまびこ会」。目の不自由な方々に新聞記事や雑誌、小説などの音訳テープ作りをしている朗読ボランティアグループでした。

同期は20人ほど、仲間と一緒にSさんの活動が始まります。テレホンサービスの6分テープの作成や様々な朗読。最初は「小学生が教科書を読んでいるみたい」と言われたりしましたが、持ち前のところとんやる性格で、今日に至るまで精力的に活動を続けて来ました。鍼灸師の問題集を音訳したとき「おかげさまで合格しました。」と言われたときはとても嬉しかったそうです。

ボランティアセンターでは、ほぼ毎日Sさんの顔を見ることが出来ます。出合いを求めて全く新しい世界に飛び込んだSさん。「でも、こうして続けてこられて私が感謝しているんですよ」とおっしゃいました。

物語は
まだまだ続く！

5人の方のボランティア活動物語、いかがだったでしょうか。あなたの活動にも、きっと物語があるはず。次号から「ボランティア千夜一夜物語」は連載になる予定です！

ボラセンだよ



「つながるかい」は毎回参加者の中からコーディネーター役を決めて、ひとつのテーマに沿って話し合われます。これまでのテーマも「根回しについて」「交通マナーが低

下している?」「ボランティアについて」など幅広く个性的的。ユニークなのは、①必ずひとり1回は話しましょう。

4月11日、ふれあい福祉センター4F和室で本年度1回目の「つながるかい」が開催されました。「つながるかい」は、ボランティアセンター主催のコーディネーター力講座受講者が、講座終了後もつながりが持てるようにと開かれるようになりました。今年で3年目。出席者の顔ぶれは、地域福祉ワーカー、福祉施設の職員、グループや個人でボランティア活動をしている人など多種多彩。それぞれの活動でコーディネーター役を担う人や、ヒトやモノなどをつなぐことに関心がある人が参加しています。

「つながるかい」 知っていますか?



幹事の丸山さんと藤木協子さん

「つながるかい」は毎回参加者の中からコーディネーター役を決めて、ひとつのテーマに沿って話し合われます。これまでのテーマも「根回しについて」「交通マナーが低下している?」「ボランティアについて」など幅広く个性的的。ユニークなのは、①必ずひとり1回は話しましょう。

「つながるかい」は毎回参加者の中からコーディネーター役を決めて、ひとつのテーマに沿って話し合われます。これまでのテーマも「根回しについて」「交通マナーが低下している?」「ボランティアについて」など幅広く个性的的。ユニークなのは、①必ずひとり1回は話しましょう。

②ここでこの話はこだけ(守秘義務)。③他人の意見を否定しない。の3つの約束事があること。異なる意見も自由に発言でき認め合える、そんな場になっています。今回のテーマは「働くこと」。それぞれの現在の仕事から、労働観、そもそも働くってなんだろう、障がい者の働く場についてまで話がおよびました。

②ここでこの話はこだけ(守秘義務)。③他人の意見を否定しない。の3つの約束事があること。異なる意見も自由に発言でき認め合える、そんな場になっています。今回のテーマは「働くこと」。それぞれの現在の仕事から、労働観、そもそも働くってなんだろう、障がい者の働く場についてまで話がおよびました。

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

イオンでは、地域で活動するボランティア団体に物品での支援を行っています。

毎月11日にイオンのお店(長野市はマックスバリュ長野東店)でお買い物をすると、黄色いレシートを受け取ります。それを応援したいボランティアの箱に入

れると、レシートの金額の1%が支援に回り、半年間でたまった金額を品物に換えて寄付していただきます。

4月6日、平成23年度下半期の商品授与式がボランティアセンターで行われ、今回は5つのグループが商品を受け取りました。

水曜ボランティア

長野市ボランティアセンターで車イスの点検や情報紙の整理などを行っています。

弘誓(ぐせ)ふれあいサロン

地域の人たちが世代を越えて楽しめるサロンを開催。イベントも趣向を凝らしています。

さくらの会

布ゼンリ作りから始まったサロン。誰でも来やすい場作りを大切にしています。



点訳グループ サタディ

視覚障がい者からの点訳依頼に應えるほか、全国ネットで視覚障がい者に情報提供を行う「サビ工図書館」に新刊図書等を点訳したものを登録しています。

おさんぽくらぶ

就学前の子を持つ親や、妊婦さんの居場所・遊び場づくりをしています。イベントもみんなを巻き込んで楽しく企画します。

こいのぼり会などに画用紙や模造紙を使う予定です。

お茶菓子を美味しくいただきながら楽しい会を開いています。

ボウセンだより

ご寄付いただきました

◆「てのひらの会」様 ◆

可燃ごみとして捨てられることが多い毛糸などの不要糸を市民から提供してもらい、それを手袋やマフラーなどにリサイクルして販売し、その収益金を施設などに寄付する活動をしている「てのひらの会」。平成5年に結成され20年近く活動してきましたが、今年の3月をもって解散することになりました。

本誌では平成23年3月号（No.341）で取材させていただきました。今回、解散するにあたり、そのお礼とご寄付をかわらばん編集委員会にいただきました。



◆「有限会社宮島製本所」様 ◆

3月に開催したイベント「まちの縁側楽会 まちの縁側めぐり1丁目1番地」の会場設営にと、段ボールの寄付をいただきました。有効に活用させていただきました。



その他にも、みなさまからいろいろなお寄付をいただいています。すべてみなさまのボランティア活動に役立てています。

毎週土曜日は、鮭Tの日！

長野市吉田の美容室sora hair make（ソラ ヘアメイク）さんでは、毎週土曜日にスタッフ全員が南部ハナマガリ鮭Tシャツ（売り上げの一部を岩手県大槌町中学生の部活費に充てる）を着て接客をしています。



東日本大震災の後、仲間の美容室と義援金を集めるための「チャリティーカット」を開催。さらに「より継続的な支援を」との思いから、お店で鮭Tの予約販売を続けています。「デザインが可愛らし、着ることで支援になるのがいいですね」と代表の伊藤秀一さん。

スタイリストさんたちがオシャレに着こなしている効果もあってか、ソラさんでの鮭Tの販売数は上々。先月から販売し始めたキッズ鮭Tも好評とのことで、今後も鮭Tの輪が広がりそうです。



（sora hair make 長野市吉田2-10-8 TEL026-243-5018）



ボランティアによる
ボランティアのための
かわらばんです

「ボランティアかわらばん」は、ボランティアによるボランティアのための情報誌です。ボランティアかわらばんでは、みなさんからの情報をお待ちしております。「こんなボランティア情報、知りたいな」「最近、こんなこと気になってるんだけど…」など、みなさんの声をかわらばん編集委員会にお寄せください。

また、ボランティアしたい・求む、イベント告知、活動紹介などに、かわらばん情報ページを大いに活用ください。掲載希望者は長野市ボランティアセンターまでお問い合わせください。

ボランティアかわらばん編集委員会では、編集委員、読者モニター、配送ボランティアを募集しています。興味・関心のある方はぜひお問い合わせください。

みなさまの情熱と力がボランティアかわらばんを支えています。

問：長野市ボランティアセンター
TEL：026-227-3707

07

子育てサークル交流会 ～はんどめいどプロジェクト i 講座～ 「楽しく！気軽に！ボランティア♪」

子育て交流会の場で、被災地支援につながる小物作りをします。

日時：5月17日(木) 受付9:30～ 開始10:00～11:30

場所：ふれあい福祉センター 4階和室

持ち物：針・糸・糸切ハサミ・布切ハサミ・ゴム通し

材料費：300円

申込締切：5月11日(金)

問：ながの子育てネット（稲村）

TEL：080-5697-9272

e-mail：n.kosodatenet@yahoo.ne.jp



障がい者水泳講習会

運動不足かなと思っている方、集まれ～！5月20日(日)の長野市障害者スポーツ大会に出場される方。大会前にベテラン指導者のコーチを受けてみませんか。

日時：5月13日(月) 13:30～16:00

場所：長野県障害者福祉センター・サンアップル

参加料：無料

問：長野市障害者スポーツ協会

TEL/FAX：026-266-8834



動けばつながる

カンボジアの現状を伝えるドキュメンタリー映画「それでも運命にYESという」（葉田甲太／小川光一監督）及び東日本大震災の現場報告から学ぶ。

「今を生きる」とは!?みんなで気づこう、行動しよう。

場所：ふれあい福祉センター 5F

ゲスト：林映寿（東日本大震災復興支援団体「日本笑顔プロジェクト」代表）

葉田甲太（監督）

参加費：500円 申し込み制になりますので、メールまたは電話でお申し込みください。当日は駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

問：リポット（羽田）

TEL：090-4464-8166

e-mail：svy-nagano@mail.goo.ne.jp

忍者ワークショップ

6月24日の鑑賞例会「オレたち忍者のヒーローってなんじゃ？」にちなんで本物の忍者によるワークショップを開催します！

みんなも忍者になってみないか？！会員でなくても参加できます！

日時：5月12日(土) 13:30～15:00 飯綱福祉センター

5月19日(土) 10:00～11:30 稲田徳間地区センター

15:30～17:00 柳原公民館

5月20日(日) 10:00～11:30 古里公民館

13:30～15:00 浅川公民館分室

講師：NPO法人子ども忍者スクール 宮下晃氏

対象者：4歳以上

持ち物：飲み物、風呂敷

参加費：300円

問：長野北部子ども劇場（上野）

TEL/FAX：026-244-9616

e-mail：nhkodomococoa.plaza.or.jp

HP：http://www2.plaza.or.jp/nhkodomococoa



“スポーツで腹ペコ クッキング” 教室

元五輪選手のスポーツ教室で腹ペコになった後、料理を楽しむ教室です。料理に、多言語会話や子供たちのアイデアも出沒！

また、5月21日(月)～23日(水) 10:00～21:00もんぜんぷら座2Fギャラリーで「第6回 国際こども絵画展」（無料）も開催します。

日時：5月27日(日) 10:00～16:00

場所：長野市ふれあい福祉センター 5Fホール、4F調理室・和室

講師：元五輪選手 堀米光男、語学（中・英）ユウエン高橋、料理・語学（中）張淑華

対象：3歳～小学生とその家族20組

締切：5月25日(金)

参加費：500円

問：ながの国際交流スポーツクラブ（高橋寛）

TEL/FAX：026-295-3265



現場状況3月分

（取りまとめ期間：3月1日～31日）

相談件数		問い合わせ件数		その他	
ボランティアしたい	23 件	会議室予約	404 件	情報カード受付	32 件
ボランティア求む	8 件	伝言	347 件	機材貸し出し	24 件
情報求む	22 件	情報提供	679 件	ボランティア保険加入	
ボランティア活動支援	11 件	機材貸し出し	273 件	ボランティア活動保険	20 件
ボランティア活動上の悩み	2 件	チラシ・掲示板	178 件	行事用保険	11 件
よろず相談・悩みごと	5 件	その他	267 件	在宅福祉サービス総合保険	0 件
ボランティア保険・事故処理	11 件	受付（よりいい会等）	571 件	送迎サービス補償保険	0 件
その他	9 件			合計	87 件
合計	91 件	合計	2719 件		

情報かわらばん

募 集

東長野病院のぞみ病棟「春まつり」 ボランティア募集

車椅子の操作を中心とした重い障がいをもつ方々への援助を行っていただける方を募集しています。昼食は病院で準備します。

日 時：5月30日(水) 10:30~15:30

場 所：東長野病院内 旧看護学校体育館

問：独立行政法人国立病院機構東長野病院
(療育指導室 佐藤健)

TEL：026-296-1111

FAX：026-295-5139

e-mail：sidou-enagano@bz01.plaza.or.jp



長野松代総合病院 ボランティア募集

病院でのボランティアを募集しています。通院する患者さんに優しくボランティアがお手伝いできれば、患者さんは安心することができます。

日 時：第1・3・5土曜日と日祭日をのぞく診療日

場 所：長野松代総合病院内

内 容：患者さんの車から乗り降りのお手伝い/目・耳の不自
由な方の受診のお手伝いなど/外来再来機の操作のお
手伝い

問：長野松代総合病院 (相澤徹明)

TEL：026-278-2031

FAX：026-278-9167



障がい者職業訓練生募集

PC実務科 e-ランニングコース

職業訓練施設への通所が困難の方で、3ヶ月安定して受講できる人。訓練会場は自宅です。

日 時：6月20日(水)~9月19日(水)

場 所：自宅

参加費：テキスト代8,400円 保険代1,800円

問：社会福祉法人 信濃の星はたらくびあっと (高橋)

TEL：026-213-7333

イベント

あいまい会

どなたでもご参加いただけます。ちょっと誰かと会いたい、話したい人、お茶を飲みながらお話しませんか。

日 時：5月15日(火) 13:30~15:30

場 所：長野市ふれあい福祉センター 4F

会 費：100円

問：あいまい会 (岩佐)

TEL：026-227-0004



2012年長野ひまわり号 新幹線で行く東北 南三陸の旅

今年で29年目を迎えた「ひまわり号」。新幹線を使って、東北(平泉・南三陸・松島)の旅を計画しました。今、私たちにできることはなんだろう、と考え今年の旅を計画しました。東北の旅を楽しんで、信州から笑顔をいっぱい届けようと企画をしました。たくさんの方のみなさんの参加をおねがいします。

日 時：6月23日(土)・24日(日) 1泊2日

場 所：中尊寺(岩手県平泉)、南三陸町、松島湾遊覧

対象者・定員：120名(障がい者、同伴者、ボランティア、スタッフ)

参加費：大人48,000円 小人40,000円(小学生)

(参加費のうち1,000円を大震災の被災地に寄付)

問：長野「ひまわり号」の会(太田耕三)

TEL：090-1123-5401

FAX：026-241-2190

e-mail：himawarigo.nagano@docomo.ne.jp



~ゆきつぼが描く~ ゴウセツの栄村文化展

昨年3月12日の長野県北部地震で大きな被害があった栄村。栄村は、国内でも有数の豪雪地帯で有名です。その雪国ならではの暮らし、知恵、文化を一部ではありますが、展示でご紹介いたします。

日 時：4月23日~5月19日

(うちゴールデンウィーク中4月29日~5月6日は休み)

場 所：カフェ マゼコゼ(長野市長門町1076-2)

参加費：無料

問：前川由美子(ゆきつぼ)

TEL：090-2630-8151

FAX：026-285-6393

H P：http://yukitubo.naganoblog.ne.jp/

デコバージョン作り

新しいデコバージョンを皆で楽しく作り交流したい。

日時：6月7日(木) 14:00~16:00

場所：ふれあい福祉センター4階和室

参加費：500円

問：縁側にいらっしやい&ずぼら工房(林アエ子)

TEL：090-2743-3239



ご寄付ありがとうございました!

ハガキ、切手、テレフォンカード、ベルマーク等
3月26日~4月23日分

川中島中学校 倉田ひろ(働電算 長野市収納課)
合唱団みすず 市教委文化財課 宮下すわ子 渡辺則子
川中島地区社協 テルウェル長野支店 山口礼子
ポプスレーリージュパーク 鈴木義人 きもちいい快
松下信彦(敬称略)

有効に活用させていただきます

ボランティア かわらばん



ボランティア情報誌

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5 長野市ボランティアセンター内
Tel : 026-227-3707 Fax : 026-224-1513
URL <http://vnetnagano.or.jp> E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

「ボランティア・地域活動コーディネーター 養成講座」を開催します

地域や施設、学校、企業の社会貢献部門、ボランティア団体など、多様な現場で課題と活動者をつなぐコーディネーションの理念とスキルを学びます。

今年度は特に、認め合う社会、排除しない、孤立させないなど、つながりづくりへのコーディネーション機能を学ぶ講座を加えました。

①「コーディネーターとは？コーディネーターの必要性」

コーディネーターがいるとこうなる！地域をその気にさせる仕掛けづくりを学びます。

日時：6月7日(木) 13:00~14:00

場所：長野市ふれあい福祉センター 5Fホール

講師：内山二郎氏（長野市ボランティアセンター運営委員長、フリージャーナリスト）

②「アサーションとコミュニケーション力」

自分も相手も共に大切にコミュニケーションの方法を体験し学びます。

日時：6月22日(金) 10:00~16:00

場所：長野市ふれあい福祉センター 5Fホール

講師：内山二郎氏

③「ボランティアとは何者～コーディネーターが大切にできるもの～」

ボランティアをどう考えるか。コーディネーターの役割・位置づけ・相談の方法を学びます。

日時：7月3日(火)・4日(水) ※予定

場所：未定

講師：筒井のり子氏（日本ボランティアコーディネーター協会代表理事）

④「現場を知る」

今、地域で起きていることを、現場で関わる人たちをパネリストに招きディスカッション。

日時：7月24日(火) ※予定

場所：長野市ふれあい福祉センター ※予定

パネリスト：未定

参加費：全回参加で 5,000円 各回ごとに参加で1講座500円
問い合わせ・申し込み：長野市ボランティアセンター
TEL : 026-227-3707/FAX : 026-224-1513

あなたのボランティア活動を応援！ 平成24年度 ボランティア活動振興助成金

平成24年度内に終了する予定のボランティア活動事業に対して応援します。

<流れ>

①申し込み：5月1日(火)から配布する所定の申請書にてお申し込みください。申請書は長野市ボランティアセンターにあります。また、下記URLからダウンロードできます。

②学習会：5月14日(月) 13:30~15:00

助成金について勉強会をします。

③申請書受付：5月24日(木)~31日(木)

長野市ボランティアセンターまで直接ご持参ください。

④公開審査会：6月16日(土) 13:30~17:00 (予定)

長野市ふれあい福祉センター 5Fホール

問：長野市ボランティアセンター

TEL : 026-227-3707

URL : <http://www.vnetnagano.or.jp>